

DOAH 2

you nanagami presents
adult only



DOAH2

you nanagami presents
sevengods! comics 2009



DOAH2

you nanagami presents 2009



はじめに

ピーチパレーZをやっていた際に常に思っていたのは、ものすごく良くできてるって事、あいかわらずパレーを遊ぶと言うゲーム性に関しえは舌を巻くほどの出来、当然のように前作を超えるほどの操作性というのがある、まあゲーム機本体が次世代機なのだから当然なのかも知れないけれど、今回のやり込み度はそれほどでもなかったというか、なんだろうな俺の中で魔女っ子システムはすごいなって始めは思ったのだけれどそれは気に入る水着は全部着るということになるから基本的につまらない水着でも魔女っ子システム発動で気に入られると、常時着ることになってしまう、着ないのなら持ってるだけならコレクションとして集めるかも知れないけれど積極的に気に入られて着られると何だろ折角のパレーだけしたいというのに統一感がばらばらになるから違和感がある、ゆえにそれしかし着せないという考え方、一着しか持たないでそれしか持ってないからそれしか着ませんというやり方だと強引に揃うからパレーの最中に統一感が出てくる、問題なのは専用水着これに関しては確実に気に入る上にしかも捨てられないさらに一着しかないから統一感がまったくでない、さて困ったと思ったときに思いついたのがプレゼントを開封しない方法、専用水着はザックからプレゼントされるものだし金色の包装紙にくるんだものだからそれを開封しなければいいのだ、そうすればそれはプレゼントとカウントされるから水着にはならない、そうゆう馬鹿な事を真剣に考える当たりこのゲームにはまってるというのが又痛いだけれど、このおかげで何だろ半端な達成感を得てしまってそれ以上のやり込みをする気がなくなった、まあ魔女っ子システム発動を止めるやり方というのものなんかあるらしいけれどそこまでやりたいとは思わなかった、何だろ前作ほどのコレクション性というのが無かった気がする、もしたよもし全ての水着を全部集めたら全裸モードが使えるようになるとか、そこに居ないヒトが使えるようになるいゆる隠しキャラとかあるならやったのかもかもしれないが、人參がぶらさがってないのに走る事はやはりできなかった、そもそもコレクション性が薄いというゲームは俺には向かない、DOAUだったかな全てのコスを開放することによってグラビアモードの封印が開放するというのは良かった、格闘ゲーム大嫌いな俺がものすごく頑張った、基本的に複雑なボタン操作で出す技と言うのがまぐれてしかでない俺にとっては地獄のようなゲームだったが何とか開放まで持ち込んだその達成感というのは無かった、そもそもデータコピーができなハードディスクの本体だからこそ封印されたモードを開放するには自分が頑張るしかなかったというのと、他人に頼るのが何となく嫌だったこれは珍しい、裏コード使うの大好きだったのにそれを使わないでやるあたり相当好きだったのが伺える、まあなんにしてもそれをやり遂げた時は、全コス集めた時にはうれしかった、他のゲームで言うと「ヴァンダルハーツ2天上の門」かなこれはやりこんだほんとに死ぬほどやりこんだ、というのはアイテム回収率が100%になるとオープニング画面が変わるといのが見たくてとにかくやりこんだ思い出がある、結果思うのはそこにやりこみの価値という人參がぶら下がってるものに俺はものすごくはまるらしいというのがわかる、漫画とか作品とかこのくらいハマる事が出来ればなっておもう、でもそこにまだ人參が見出せないというのが、いまいち真剣になれない理由なのかもしれない。





DOAH

you nanagami presents
adult only



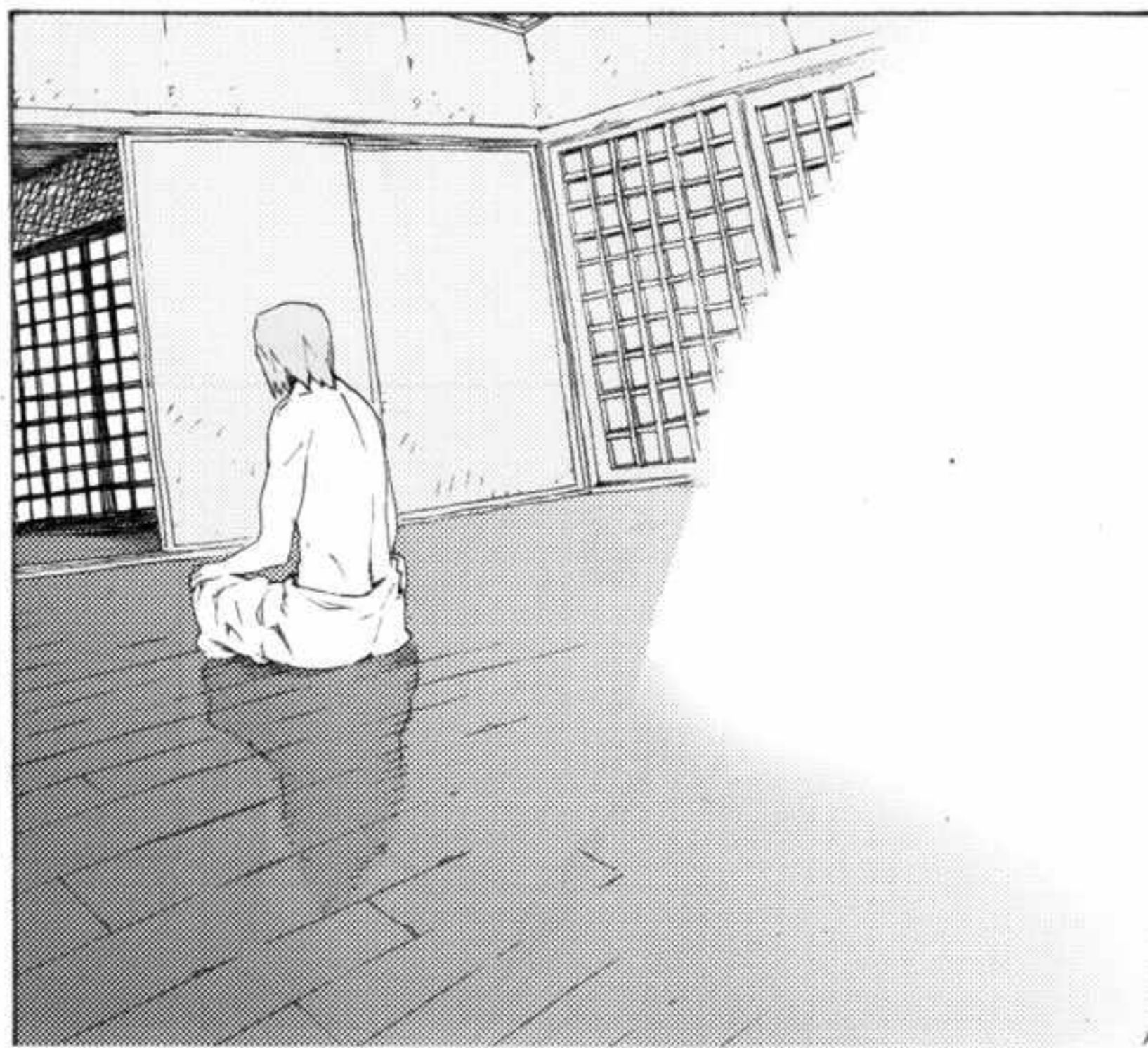
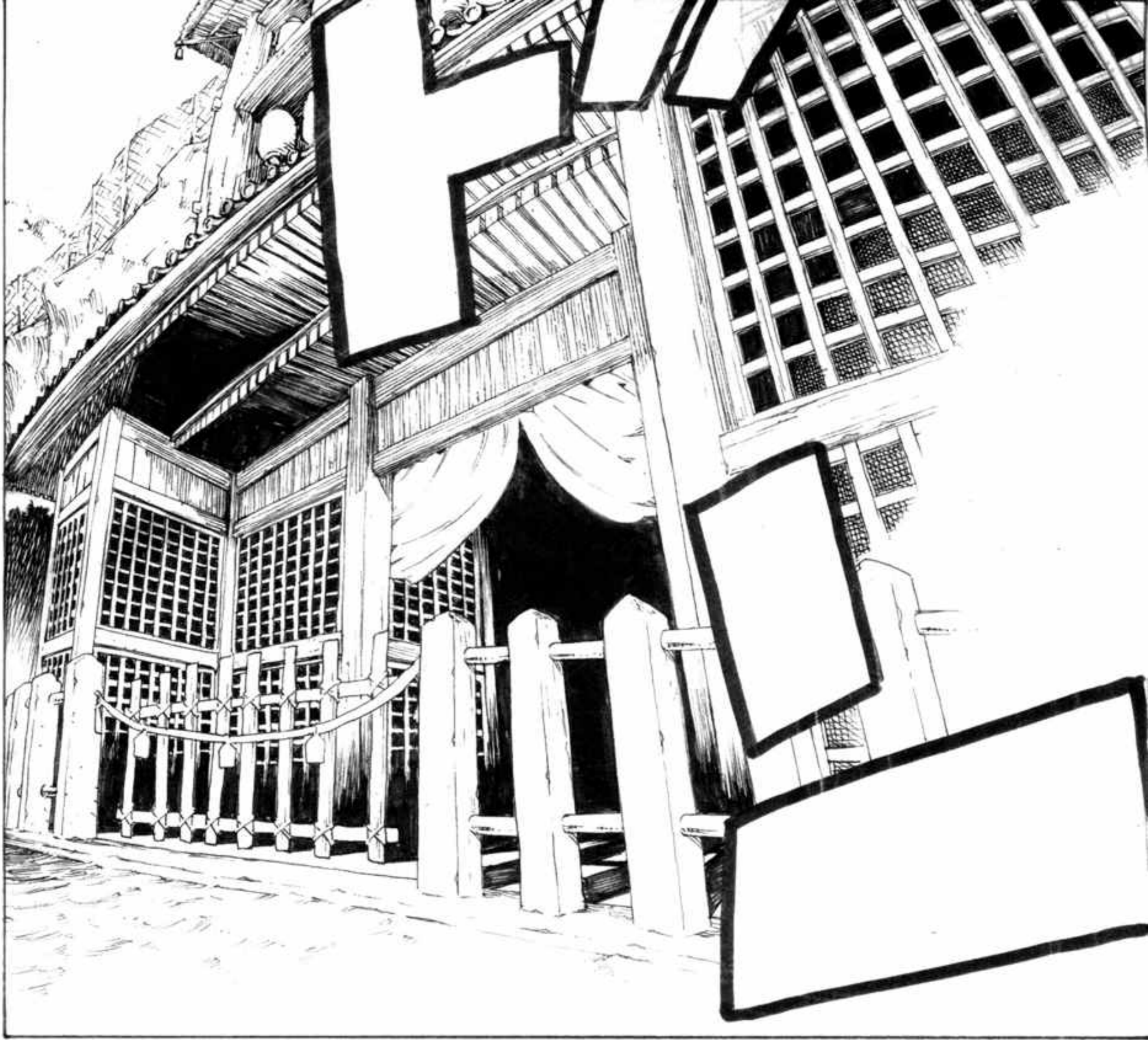


あなたに
あたしは倒せない



そ、そうかも
しれない

でも……



どうしてここに来た
抜け忍のお前が
来るにはもつとも
危険なところだろ

それとも何か
理由があるのか？

理由ってそんなの……



霞か……



兄さんに一目会いたい
という事だけ……

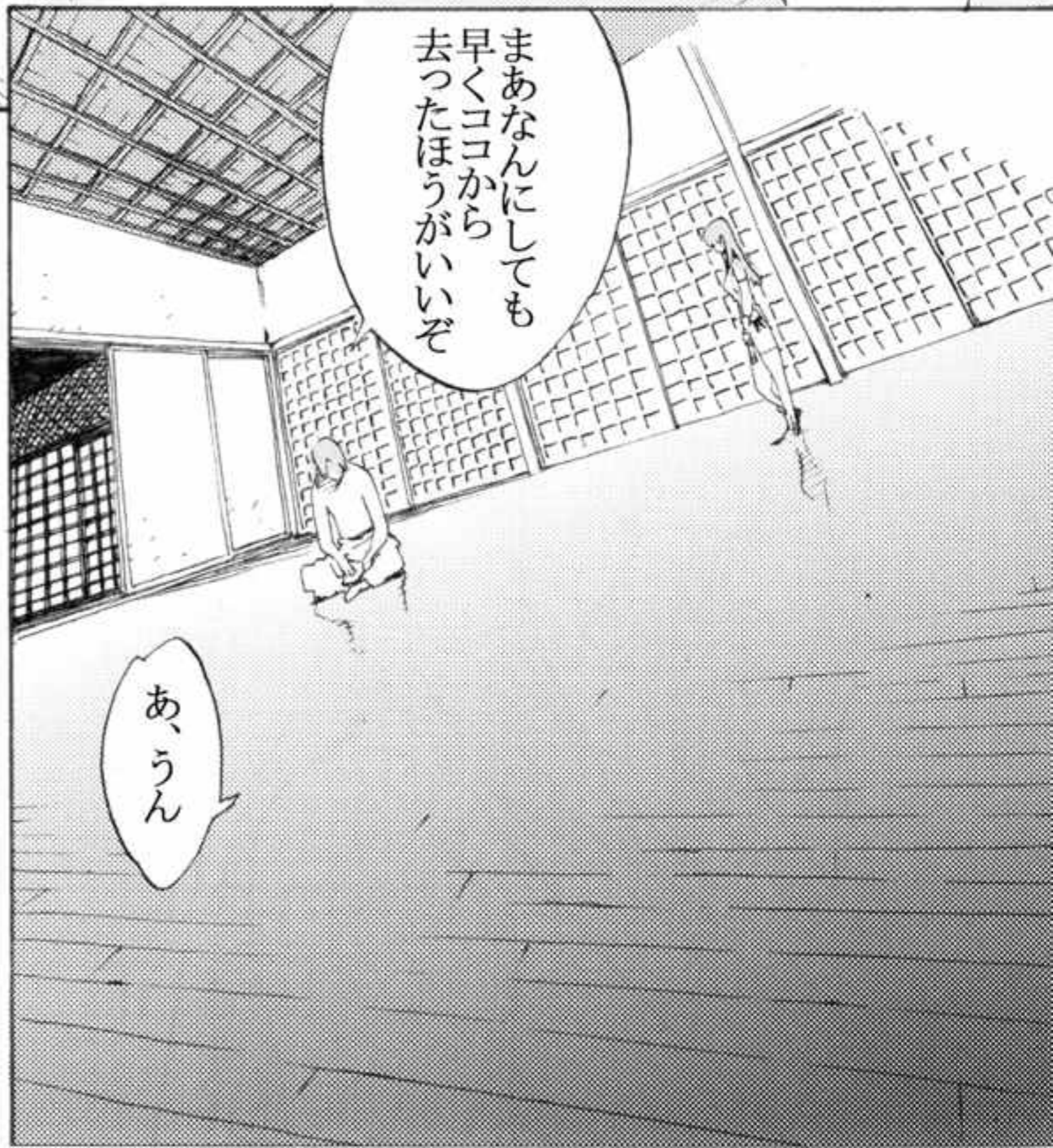
聞いているのか？



でもどうしようも
このまま帰ったら

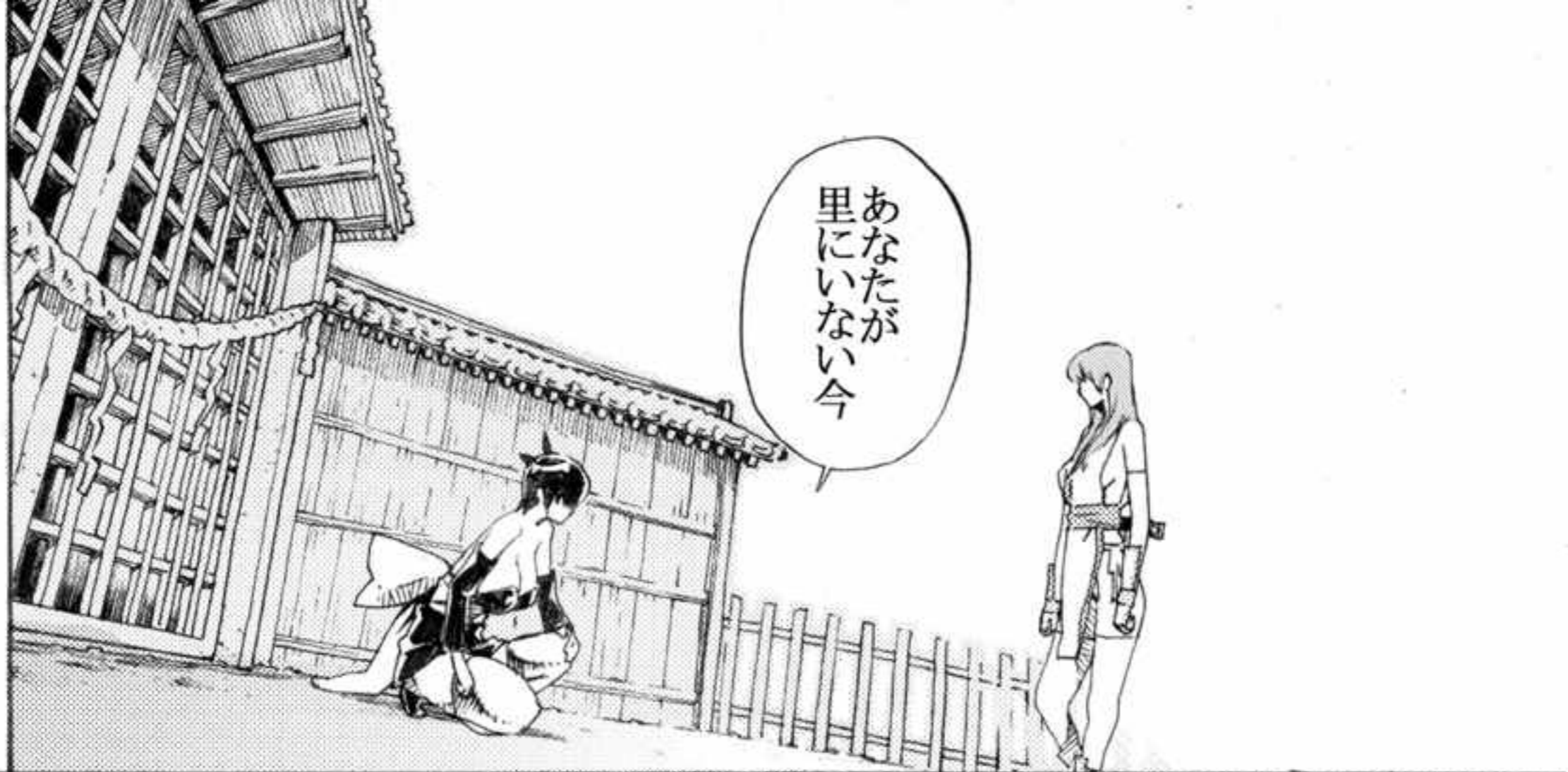


……？



まあなんにしても
早くココから
去ったほうがいぞ

あ、うん



あなたが
里にいない今



ハヤテ様は全部
あたしのもの！



な、何が
したいんだ
お前

だ、だいたい
時と場所
考えろ

ごめん
でも...

でも
なんだ

わたさない

と、突然
キスなんか
しやがって

兄さんは
あたしのモノなんだから……

あっ
こっから

キキッ

ああっ♥
やっぱり凄い
兄さんのチンポ

な、舐めて
あげるね

頼んで
ないだろ

じゃああたしが
舐めたいの
いいよね

さっさと

キキッ



あうっ

チクチク



ああ嬉しい

兄さんが
あたしのフェラに
感じてるのがわかる

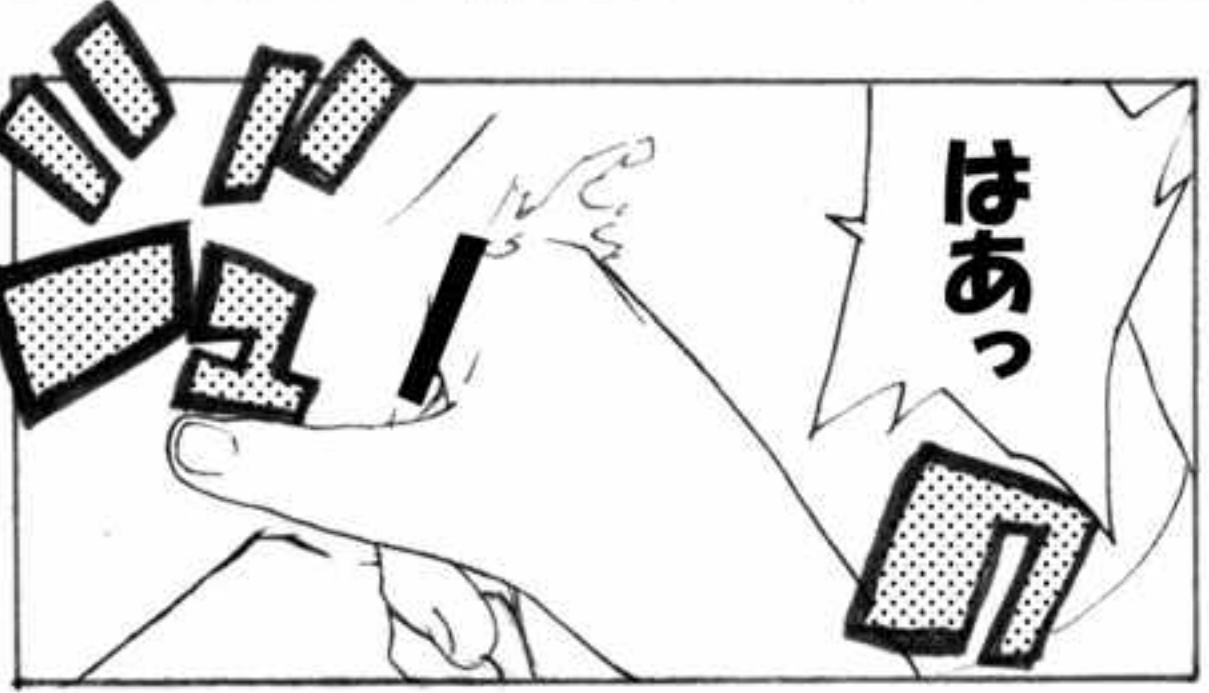
凄
い
ビクビク
してる

ま
待
て
っ
て

ち
よ
ち
よ

だ
か
ら
も
つ
と
も
つ
と
…





カッ

特にこの
クリトリスを
噛むと...

あつ、駄目
そこ駄目感じる
凄い：あつ

ムル



ひあつ

あつ

しゅる

しゅる

しゅる

あんなあ：
あ



ははは
はあ
はは



は...
恥ずかしいよ
そんな事

やっぱり
そうだよな



...



...
霞

ちよっとお前に
したい事があるのだけど

え?

まあ霞が
嫌なら他の子に
頼んでも……

え？

ほ、他の
女の子にそんな事
させられないよ……

だ、だから兄さんが
ホントに霞にそれを
したいのなら……



カ
ア



でもこれから
もつと恥ずかしい事
言わないと
いけないなんて……



ああこんな所で
裸になるなんて
誰かに見られたら
頭おかしいって思われちゃう……

か、霞が今から
オシッコするから
よ、よく見てて：

ブル

ブル
ブル

も、もっと
開かないと
よく見えないぞ

あんっ♥
じゃ、じゃあ
もっと開くから



え!



ああ予想以上に
沢山出てる、これじゃあ
いっぱいする女の子って
思うわれちやうう...

キョホ



へっオシッコって
指で穴ふさぐと
結構止まるのな

あひあっ



指でふさぐ
だけじゃないぞ

あっ



ちよ
ちよつと待って
あつ、駄目...

やめて指で
ほじっちゃ

ハッ



ちやんと
尿道閉めとけよ

やっぱりオシッコ
我慢しながらだと
オマンコのしまりが
違うな

いや兄さん
待って今は...



あっ



だ、駄目
兄さん

そんなに
刺激しないで

も、もれ
ちやう・



あつ、なにこれ
なにかこれ...

んはっ

ひっ

はあっ

気持ちいいのわ……

我慢してゐるのわ……

気持ちいいんだろ
この変態娘め

解らなく
なつてゐる……

あつ、違ふの
違ふんだから

だけど：
もう無理
もう我慢
できない……

オシッコしたいの
オシッコさせて……

何度も言うな
はしたない娘だな

だ、だつて
しょうが
ないな……



じゃあたつぷり
するといっ...

きゅん



もう我慢しないで
ほら早く、ほら

いや、あつ
揺らさないで

んん

ああつ
駄目

もう...



あつ、いやこんな
赤ちゃんみたいなの
格好でするなんて

今更なに
恥ずかしくて
したんだろ、さつき
途中だったもんな



!!!

カアッ



カッ
カッ



カッ



カッ

ああっ、出る
出ちやういっぱい
オシッコ出ちやうっ

今は無理だな



許して...

ひっあつ...
兄さんのチンポ
大きくなってる

いまは許して
今は大きく
しないで

オシッコしてる
最中なのよ
お願いだから...

駄目
ああつ



あつ

ひあつ

気持ち
良過ぎるからな

ズッ

ズッ



ひっ

んあつ

ズッ

ズッ

う、動が
ないで

ズッ
ズッ
ズッ

オシッコしながらの
霞のオマンコの
絞まり具合が...



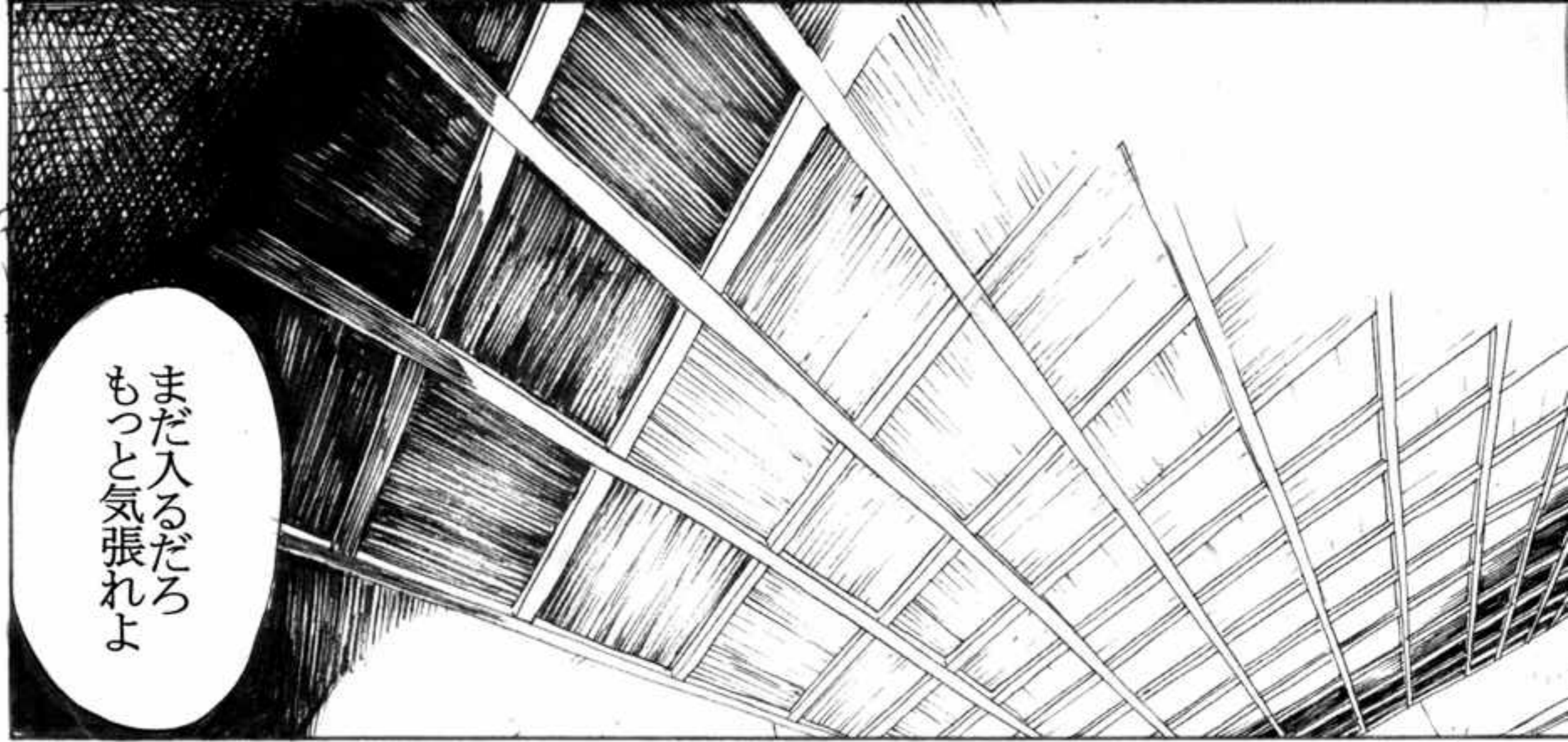
ああ
うぬあ



おっ、うっ、うっ

ハ





まだ入るだろ
もつと気張れよ



ううう...

が、頑張ってるけど...

やっぱり駄目駄目なの...

いいから我慢してろよ

パキッ

うあっ
ああ...

あっ

ポキッ

パキッ



もう許じて...

もう限界なの...



ふう
はあ

見でいいから
ココでするから...

俺が
漏れないように
ケツの穴に
栓をしてやる

ひっ

これでウンコ
しかぶらなくても
たっぷり霞のアナルを
楽しむ事が出来る

ああっ

ああっ

ああっ



だ、駄目駄目
兄さん……

ううう

裂ける
お尻裂け
ちやう

か、
浣腸液が
お腹で……

混じっ
ちやう

う、
ウンチと
混ぜちや

ドゥン
はあ

お腹が
ゴロゴロって
下ちやう……

ひっ



エイトンエイトン

ふああ
ああ

ぐいぐい



淫乱な霞には
簡単なことだろ

オマンも同時に
いじっちゃう

あつ駄目
あつ：



ケツの穴であと
5回逝くまで
止めないからな

そんな：



ゴキョウ

ゴキョウ

ゴキョウ

あああ
あああ

よし次はこのプレイをするぞ！

ああっ許して兄さんそんなことされたら...

あっ

あっ

あっ

か、霞プレイの最中に悶絶死しちゃうかも...

淫乱な霞にピツタリな死に方だな

ああっそんな...

ち、違うよ霞はそんな

ああっ、でもあたしの身体は...

あつ駄目
兄さん：

ひっ
そこほ

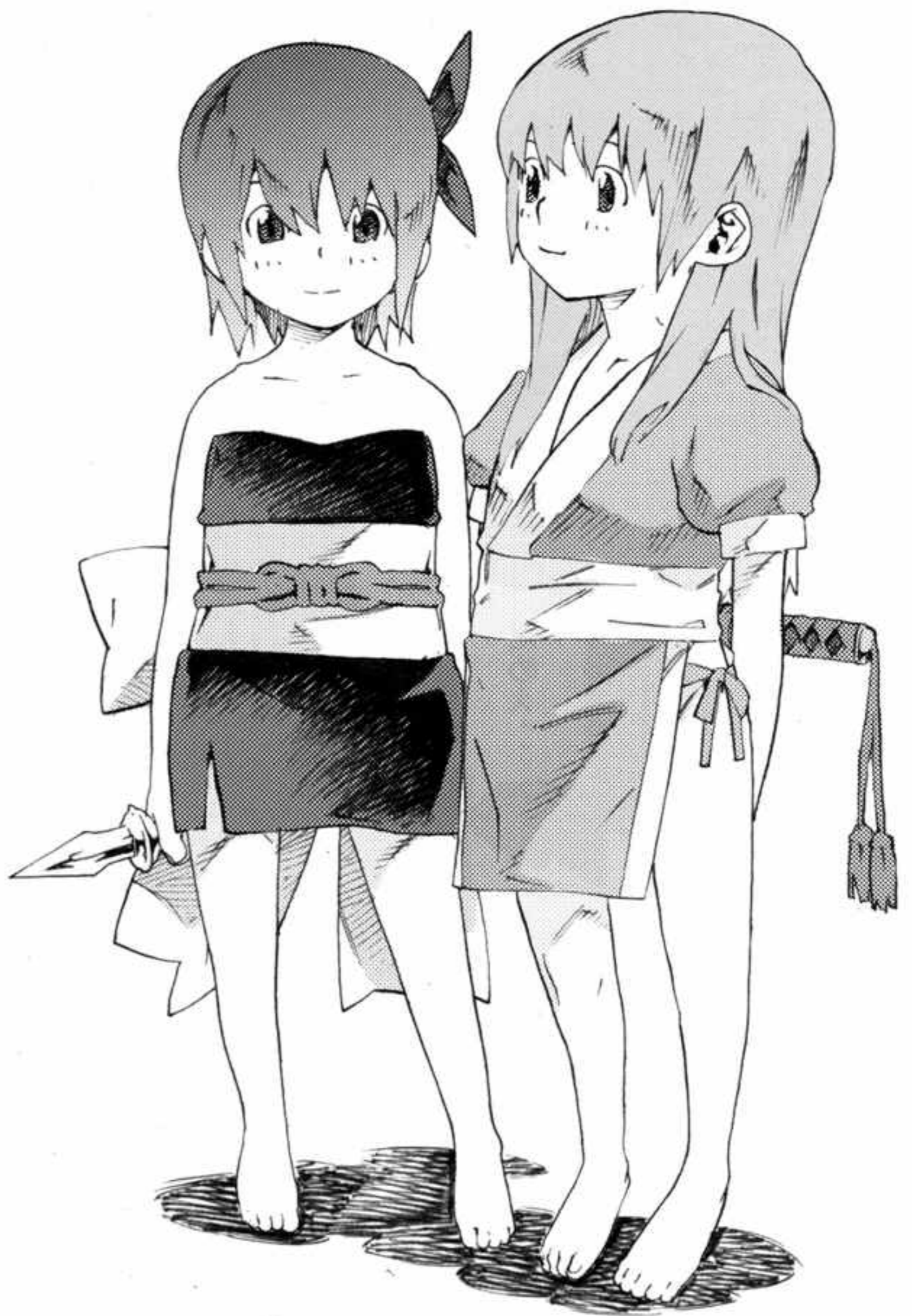
はっ

いやっ
あつ・
ああっ……

あつ…
そこっ

だめえ…

ああ
あっ…
♡





monotonous 2
DOAH 2.1
you nanagami presents
adult only



ハヤテ様……

ガキガキ

はあつ♥
かつこいん……





でもあたしとハヤテ様の
間には身分という
厚くて高い壁が…







は、ハヤテ様！

さわり心地も
完璧だな



あきれたな
もうこんなには
濡らしてるとは

カ
カ

んあっ

ほんとにアヤネは
淫乱だな

モミモミ

ち、違います

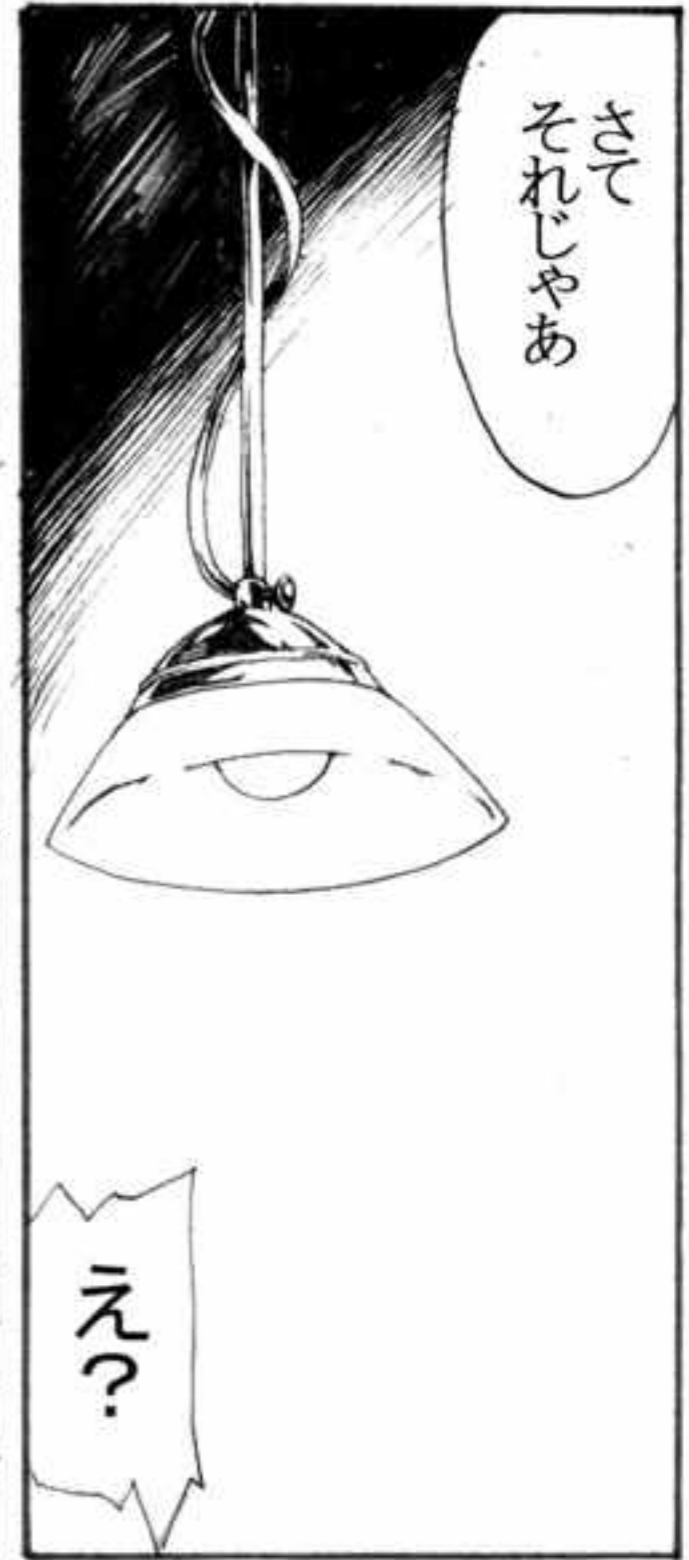
カ
カ
カ

それはハヤテ様に
触っていたらいい
から……



ちよちよつと
待っててください
ハヤテ様!

あつ



さて
それじゃあ

え?



そんなことは
知らん



あたし達には
身分という
厚くて高い壁が



それに
あたし達は
兄妹ですよ……



たとえ兄妹でも
俺はお前を抱きたい



ギン
ギン

あん
だめ

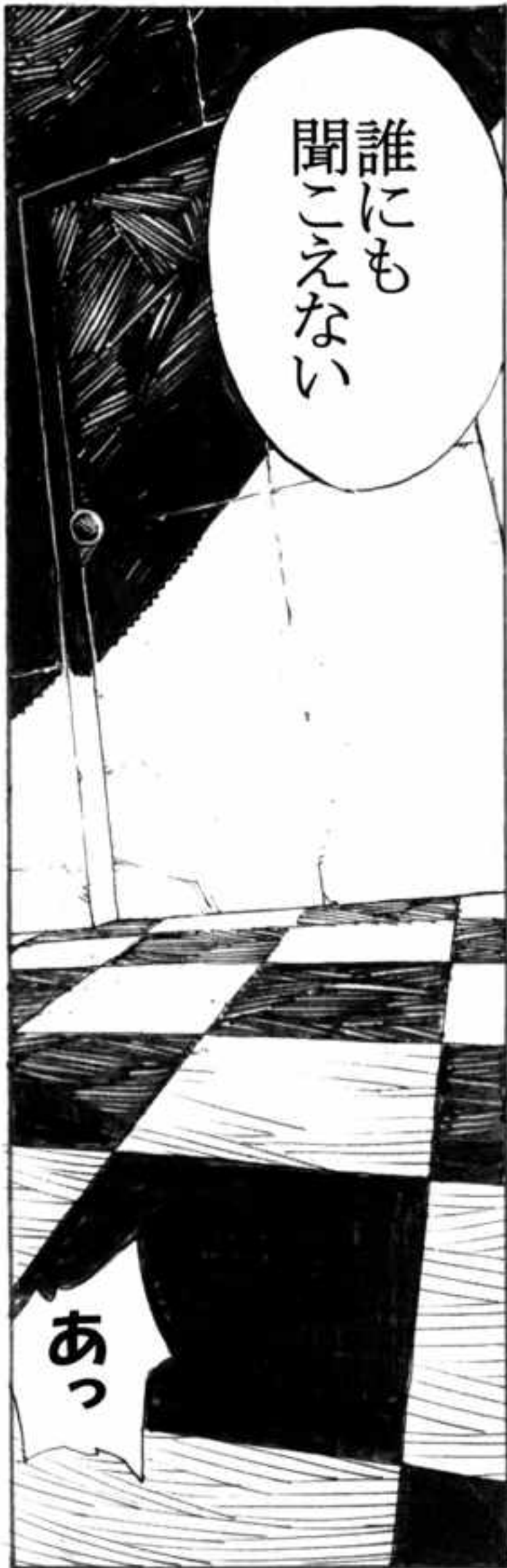
声が出ちゃう
誰かに気付かれちゃう



うれし...



いくらでも
声を出すといい



誰にも
聞こえない

あっ



ここは奴隷を
調教するための
秘密の部屋だ
どんな大声出しても



だから安心して
俺の性奴隷として
ここで生きるといい……



えっ？
どげんか
事ですか



お前の身体が
魅力的すぎるのが
いけないんだ



この肉体に
生まれた事
後悔するまで
犯しまくってやる

あぁっ
だめえ

駄目激し
すぎてるっ…

ひっ

おがじく
なつちやう

ギョッ

誓え誓うんだ
俺の性奴隷に
なると

誓いますう
誓いますから…

ゴッ

アヤネは
ハヤテ様の
性奴隷ですう



だから
もつと、もつと……



もっと激しく……

あゝあゝ

うわぁ

うわぁ

もっと激しく……

ああすごい
そこ何度もして
何度も突いてえ

あ

あ

はぁん

はぁん

はぁん

ピク

おまんこ
ズル剥け
ちやうくくらい
何度も...

ひあ



そんなわけないか...



えっ？

毛豆



ハヤテ様が
あたしになんて...



は、ハヤテ様：

さわり心地も
完璧だな

そ、そんな
これって…

to be continued...



飽きっほい、とにかくすぐに飽きる。ある程度ハマっていてある日突然飽きるから友人にもう飽きたのってよく言われる。ただ好きなだけならすぐさめる、まるで季節が過ぎ去るかのよう、ところがそれが調べたい勉強したりというので好きになる努力をした時にどっぴりハマってしまう、そこに自分なりのなんで好きかという理論という「こだわり」が発生するから・・・しかしこの「こだわり」というのがなかなか厄介だ。この店がおいしいから、このメーカーの物がいいからとか、終いにはそこでなくては駄目だなんて自分で思い込んで手に入らないとその事が出来なくなる。こだわる事はいいことだと思ふ、それを実行してると自分の生活に一貫性というのを感じられるし、自分は流されて生活してるのではなく自分で選択して生活してるのだって思ふ事が出来る。ただ漫然と生きてるよりもよっぽどいいとおもふが、そのこだわりというのが複数存在してるとなかなかこだわって生きていくというのが難しくなってくる、全てが統制の取れた完全なる自己管理の生活というのはカッコイイ、だけと思ふ。いつかそれにひずみが出てきた時、つまりメンドクサイと思つた時にその管理はズして来る、自分では完璧をきしたはずだからそこにズしがあるということに気付かない、それが一番恐ろしい、本人が気付かないというのが一番恐ろしい。「こだわり」とは妄信することだ。自分が決めて自分が判断した結果それは正しいのだって思つてること、たとえ現時点でそれが世間にとっては正解ではなくても自分が今正しいと思ふ事ができるのならそれはいい、正しいのだと思つて貫きとうす事が出来るならなおいい、大切なのはそれが間違つてると気付いた時に軌道修正できること、全速力で戻って1から始められる事・・・それが長い時間費やしてしまったから全てが無駄になると思ふと案外出来ないから困ってしまう。「こだわり」、なんてないほうがいいのかもしい、ただ流されるままに何も制約のない生き方というほうがいいのかもしい、自分の事に関しては特にそう思ふ・・・ただ仕事に関しては別だこれは俺のためではないだからこそ、こだわらなければならぬと思ふ。一番こだわる事さえあるなら他の事なんてそれを加速させるため増幅器であつて本当はどうでもいいことなのかもしい。こだわる事の順位付けというのが出来るのであればその他のこだわりもいつでも切り捨てるのがちゃんとわかつてるなら、俺は飽きるのはいいことだと思ふ。

七神優



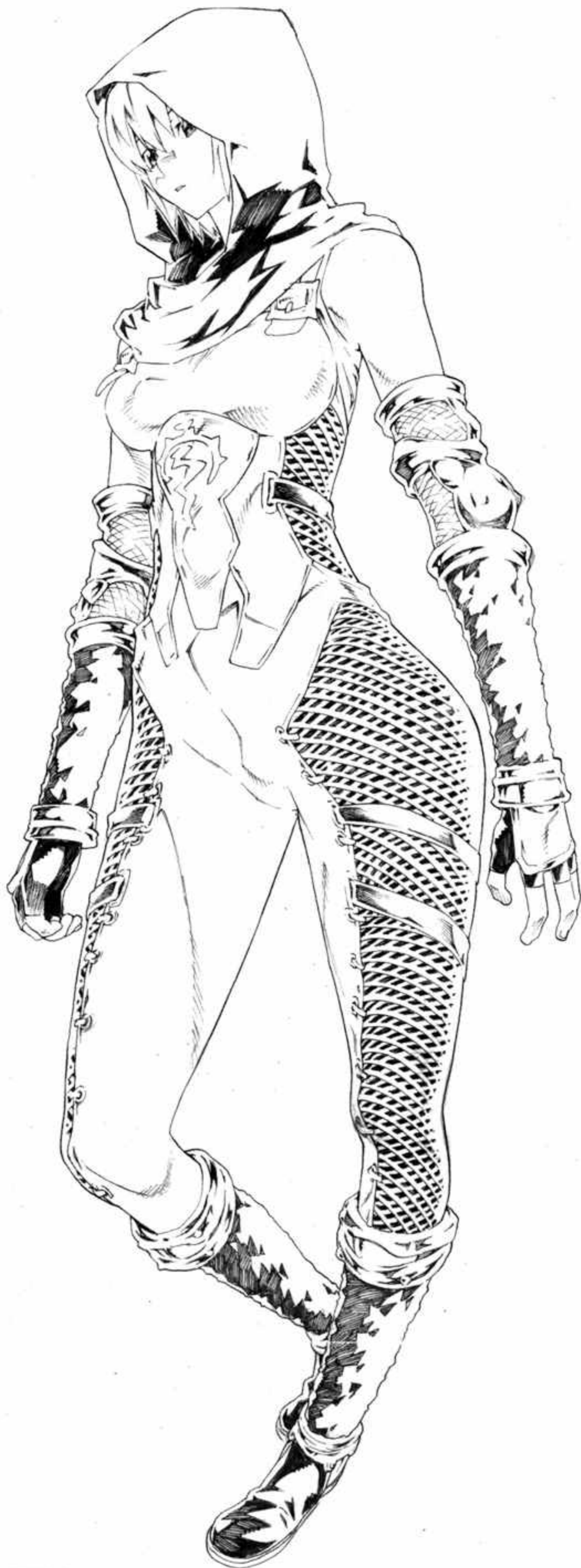
読んでもらえると思うのですが、DOAHの第二弾のヒロインはアヤネです。あまり刷らない売らないという決断からこれを描く事が出来ました、描いてつくづく思うのですがメインをあえて避けるという事が思った以上に好きです。今までもメインヒロイン以外も書いたことあるのですが今回に関してはまったく計算ができませんでした。アヤネのファンというのがあるのだろうか？描いても売れるのだろうか？って計算ができないでずいぶん描くのを悩んでましたが、それでも描いてみたかったという気持ちか上回ったという事でしょうか。まあ自分が好きでも読んでくれる方が気に入らないと意味がないのですが、そもそもゲームのキャラというのは求めているという人がいるのか？というのが一番の迷いでしょうか？、だからこそ今回のモノトーンズのように少数部数しか刷らない企画にもってこいのキャラだと思います。さて比較的によく出来てると思ってるのでもう少しこの話は続けたいと考えてるので続きが出ます、次に出る時は総集編といったほうがいいのかもかもしれませんが、とにかくアヤネ編をもう少し書き足して出すので良かったら読んでください。

七神優



「地味なコスの意味」

制服とかならいい知らず、なんでこのヒロインはこんなコス
をきてるのだろうか？。ヒロインなのになんでこんなに地味
な服きてるのだろうか？。それを思ったのがDOA4の綾
音のIPコス。何でこの地味な忍者服がデフォルトなの
かって思っていた。しかも今回は最悪なのはいつもの大きな
リボンがついてる紫の服がないのだ、何でだろう何でそれを
はずす理由があるのだろうか？とふと考えた。それをはずすと
いうのは霞が大胆な露出キャラを独占する事になるのでは
ないのだろうか？、完全に綾音は霞にヒロインポジションを
喰われた感があったのだが・・・そんな無駄なこと考えてる
うちにふと気付いた事が、それはニンジャガイデンの最新
作で綾音が動かせるという映像を見たときのこと、この服の
露出はエロイな一着だったときに気付く、全員がエロイ服
着ていたのならそのエロさはわからなくなる、キツ立たなく
なるといった方がしっくりくるか。つまりヒロインとして霞に
白忍者コスを着られてるかぎり誰もヒロインになれないの
だ。きっちり服きてるヒロイン達の中で一人だけ水着のキャ
ラがいたら、それはその水着のキャラが目立ちすぎて市場を
独占するようなもの。なるほどなって思う、より過激な露出
を加速させるインフレ合戦では最終的に全裸ほっかきの変
態的な世界観になってしまう、しかもその裸が普通になっ
てしまうとそれ以上の事はできなくなり究極のインフレが発
生する。それではどうすれば良いのか？。極論を言えばその
ヒロインだけ目立たせれば良いのだ、そのためには他のヒロ
インを地味目の服を着せることとメインヒロインをちょっと
エロイ服にすることによってそのヒロインを目立たせる事が
できると思う。ちょっと古いが勝負パンツのようなものだ、
その局面だけの特別な服そのほかはちょっと地味であれば
いいのだというのがわかった。ニンジャガイデンはハヤブサ
の世界なのだからハヤブサが一番カッコいい服きてるだ
からカッコイイし目立つ、DOAは霞の世界なのだから霞
が一番エロイ服着て目立つようにしてみんな地味めな服を
デフォルトとすることによって霞が目立つようになった。そ
してニンジャの最新版の綾音は綾音を目立たせるためにも
し霞がでてくるなら霞に地味な服を着せることでヒロイン
との差をつけるのだと思う、全てのキャラにそのキャラ本人
が主人公になる世界観がある、そこで主人公以外はみんな
地味目な服きてるが主人公のもしくはヒロインは変わった
服を着ていたらそれが目を引くのだなって思う、それが地味
なコスの必要な理由なのなって思う、そういえばテクモの
ゲームの影牢2に霞のアイテムとして霞が地味なスポンの
服ででていたのはあれは主人公を喰わない為かって今更な
がら思う。



「ハマるのではなく発見する楽しみに」

「DOAX2」をやっている、これはビーチバレーにしか価値はないのというのを後で気付く、全水着をフルコンプリートしたりポールダンスを何度も見れたりというのは単純に考えなくても死ぬほど時間を消費する、やり遂げるといのは確かに凄いことだって思う、やってるヤツを見たことないけれどそれを完全に完璧に全部するというのは凄いことだって感心する、ただ俺は思う無意味だって。そこにはゲームとしての楽しみがない、もはや娯楽ではないただの作業になったモノに何の価値がある？。まあそれは究極の工口を求めるためのものだとすると普通のものよりもさらに無価値なこと、だからこそあえてそうゆうことわかっててをやっているやつはちょっと尊敬する。けれど・・・俺にはそれほどその作業は無理、改めて思うフルコンプリートは偉いわけではないのだって、それには価値はないの本人があえてやっていることに勝ち負けとかないのだけれど、俺が思うに最後まで楽しんだやつというのが勝ってる気がする。そうゆう意味ではもはや膨大な時間の作業をすることになったDOAX2のフルコンプリートは価値はないと思う・・・ただいまでも俺はDOAX2を楽しむ事ができる、というのはいろんなユーザーが敵が強くなったスコルク(完封勝利)ができなくなった、負けると時間の無駄だからとと疲れるといことを言っていたが、確かにそう思うでもそれはフルコンプリートのためにバレーさえ作業になってしまったからだ、そこに今でも楽しむ者と作業という苦行にゲームが成り果てた者の差があると思う、前々から思っていたことだけれど何であの会社はあんなハードユーザーに向けてのゲームを作るのか？俺のようなイージーユーザーに向けてなんで合わせてくれないのだろうか、ユーザー人口を広げる為にはそっちに合わせた方がいいのではないのか？ハードユーザーにはネットでイベント配るとかすればいいのではないのか、ムカつく。キミは運転が下手だからF1は乗る資格ないねって言うようなものだ、もしくは貧乏人のためにゲームは作りません私たちのゲーム機は高級ユーザーのためのものですよって言ってどっか飛ばされたやつか！ゲームのくせに俺の反射性能の差別をそこでするのか、ハードユーザー向けだけ歓迎のニンギョウとか諸悪の根源だって思う、まあいいや何にしてもあそこの会社のゲームはユーザーにやりこみを求めさせる、そこが前から嫌いになっていたのだ・・・そして気付くやりこめばやりこむほど、きつい事をすればするほどに会社と共に好きだったゲームが嫌いになっていくということに。はじめに言ったように「DOAX2」のビーチバレーは完璧なのだ良くできてるのだ、だから何の目的もなくバレーを楽しむ為ならずとやれるのだ目的もなくバレーを楽しむ、そうなるを負けたことでさえも、俺が弱かった俺の戦略がまズかったと言う事で楽しくなるという事さえも・・・だとしたらバレーだけを純粋にやり続けるにはどうすればいいのかって考えた・・・そして至った結論は、全員が常時「ビィーナス」だけしか着れない世界にすることだ。一番工口イ水着を統一服装として固定する事ができるなら服装に関しての文句はなくなる、そのためには実に簡単な方法がある水着を一着しか持たないことである！その水着しかないならそれしか着る事ができないならキャラはそれしか着ないという状況が出来上がる、ここで問題なのは専用水着だこれは各種別々にあるから着られると統一感がでなくなる上にこの水着の最悪なのは捨てられないことにある、さらにお気に入りのので必ずあると着てしまうのだ、こうなると完全に統一感がなくなる、でもこの問題は専用水着のフレスントパッケージを開けないということに解消した。だいたいある程度やった人だとわかると思うが、専用水着はザックが金色の包装紙に包んで送ってくるのだからだいたいわかる、それを開けなければそれは水着と認識されない、ただ持っているだけの金色のケバケバしいフレスントなのだ、それによって全員「ビィーナス」常時着用状況が出来上がる。さてこれだけなら普通の人にもできるのだけれど、バレーをやっている最中にたまにフレイキャラに違う水着を着せたくある時がある、例えば「アクアマリン」とかを霞や綾音にとか、これがクリスティなら自分で買えるから簡単なのだ、ところが霞には買えないフレスントしてもらえないのだ、でもこの「アクアマリン」という水着は半端なく工口イ水着だから、ま〜捨てられる徹底的に捨てられる、ときたま気分転換にとかの理由で渡そうとするとちょっとの気分転換ところが過度のストレスで完全に鬱状態に入ってしまうほど捨てられる、それほどまでに渡すには覚悟と下準備必要なのだ。でも簡単な気分転換とちょっとというかたまにこの一試合だけ着させたいのだそれが気分転換なのだ。そこで編み出したのが「持っている水着を着させない」という事・・・ようは気に入っているから着まわすのだから、つまらない水着を着まわせないように工口水着一着残して全部捨てたのだ、でも逆に好きじゃないし着たくないけれど持っているという状況を作ればいい・・・つまり魔女っ子システムを起動させないで渡せばいいのだ、そのためにはどうするか？。考えた結果思いついたのはフレスントとしてもらっているけれど魔女っ子システム起動してなくて気に入っていない、そもそもああゆう「アクアマリン」のように異常に工口イ水着は気に入らないかぎり受け取らない、つまり受け取るという事は魔女っ子システムがティフォルトで起動するのだ、そこに俺は付け込んだ。水着を渡して魔女っ子ムービー起動した瞬間からそれが終わるまでにしいたけボタンを長押しして強制的に電源を切るのだ、一か八かの力ケだったのだけれどそれによってバグが起きる、フレスントは受け取ったけれど魔女っ子システムはキャンセルされているという状況に・・・これには俺なりの勝算があった。もともとオートセーブされるのがこのゲームなのだけれど、たまにバレーで完全に差が付いて完全に負けたという時にシイタケボタンで電源を切ると負ける前でなくて負けた後になっているのだ、つまり電源切った直後は当然何もなければ一バカンスが消費されている事にカウントされる、それでももしかしたらって思ってやってみたのだ。そして俺は賭けに勝った！、カッコイイって思ったねスゲー俺って、わかるかなこの気持ちあまりに好きすぎてそこに裏技を見出す気持ち、余談になるのだけれどのちにサインアウト法というのが確立されるらしいこれはどうゆうものなのか俺にはわからなかった、読んでも意味がわからないから相当俺頭悪いのかなって思って悩んだほどだ、でも思うこれを知らなくて良かったってそしてその裏技に自分で気付いたからこそこんなにこのゲームが好きになったのだろうなって思う。同じような事で言うとパソコンで絵を書くときに良くそうゆう状況があるティフォルトで書くのでは時間がかかりすぎるだからこのツールの使い方や作画パターンを使うのではなく、別のルートでとかこの行程を思いっきり省くとかすごく良くやる、表現方法もこのパソコンのいつもと違うツールを使ってみようとか考えるのが、そうゆう事思いつくことが楽しくて仕方がない。まあでもヒトの・・・いや俺の工口イの力って好きなものに対する力というのは求め方というのは「ばねっ」てちょっと笑う。・・・ところがそう言うた今この文章を書きながらとんでもないことを思いついた、それは今までの文章を全部否定しかねない事だけれど書かすにはいられない、これも俺が発見した思いついたことだから・・・実に簡単な魔女っ子システム起動の気に入った水着をキャラに着ないようにする方法は・・・他人にフレスントするためにラッピングする事こうするとさすがのキャラたちもコレクションからは勝手に出すけれどフレスントは勝手に開けない当然な事だ、たまに着るためには開けなければならぬし再ラッピングに金もかかる、でも工口イ水着を渡す苦勞を考えると全然楽だ、一番高い「ビィーナス」のラッピング代が50万ザックだからそんな楽勝で稼げると考えると、これだよこれバグとか利用しなくてもこれがあれば統一水着になる。

「結果の残らない虚しさ」

ついと言うが今更なんだけれど最近になってようやくというかポールダンスのムービーを手に入れてみようかなって思い何気なくやってみるとこれが、なにこの発動条件と言う感じの難易度、カジノスロットのクリスティ台でクリスティの顔が揃うというのを9回繰り返すというもの、しかもありえないくらい金が減って行く、まあ逆に増えていくというのものもあるのだけれど、それにしてもとんでもない、すでに水着集める事に興味がなくなって久しし、プレゼントも一切買わないで島に行っただけで一番初めに誘ってきたやつとしか組まないというバレーしか興味ありませんみたいなゲームになってるので、バレーさえ勝ち続けていけば見捨てられないしコンビ解消される事もないので金もいらなくなって思っていたのだけれど、そのポールダンスなるもののために徐々に金を稼ぐ事になるのだけれど・・・あれだなんて思う、金を稼ぐためにバレーをすること自体は別に楽しい、でもその稼いだ苦労したお金が一瞬でなくなるのはほんとに我慢ならない、金が欲しいというわけではなくて苦労が水の泡になるようなシステムが問題だって思う、これは一言マンゲーって言うので片付けていいのだろうか？、何だろはじめはそんなに思ってなかったのだけれど、資金がゼロにならなかったから何となく減って何となく増やせて行ったから、だから初めてゼロになってからようやくわかる、ああこれは駄目だゲーム内の苦労や努力を完全に消去するシステムだって、経験値を消すようなものなのだ、データが消えるほどでもないがなんかしら頑張ったんだからごほうびが欲しいというのがある、聞くところによると「風来のシレン」も死ぬと完全にレベルとかアイテムとかがなくなると聞いた事がある、そのヒリヒリ感がたまらないというのがヘビーユーザーの意見なのだけれど、シューティングとかアクションとかと違い48時間丸二日のデータが完全に消されるといふのはどうなのって思う、一切にやる気がうせる、それをやり遂げた向こう側に何かあるからそれだけの試練を背負わせたからこぞ待ってる御褒美が大きく感じるのですよって考え方ならしょうがないのかも知れないけれど、そのマニフェストにはついて行けないという人もいるということも考えろやって思う、ゲームなんて遊ぶためのものだろう、それがなくなってる、コレクター魂のくすぐり方というのも、結果的に何が起こるかわからないからその努力をする気にならないのだ、ネットの普及でこのゲームでこれをしたらどうなるかというのはある程度わかるものの、それが無かったらそんな努力なんかしないだろうって思う、攻略本にも載せてない秘密とかそれをわざわざやると思うのか？、そこに埋蔵金が埋まってるからめっちゃくちゃ努力して掘るのだから、「かもしれない」で努力するのは現実だけで十分だ、ゲームにまでそれをやりたくない、結果ではなく参加することに意義があるなんて言葉は現実だけなのだから改めて思う、前のビーバシもそうだった、何だっけゴットハンドシステムの発見で全ての努力が完全に霧散した、何だろなんでこんなに努力というのを完全否定したがるのだろうか、それではなれていくヒトがいると考えないのだろうか、やればやるほどこのゲームの開発会社が嫌いになる、まあでも深く楽しもうとしなければ表面的なものだけ楽しめるならそれはいいのかもしれない、でも俺は無理何でもかんでもすぐ投げがちな俺には、そして思うのは投げないようにはその結果というのがちゃんと手元に残らないと駄目だっていうこと、そう考えるとちゃんと現実で仕事していくという事がいかに実りあることなのか改めて思い知る、それをビーバシから学ぶのが一番の問題なのかも知れないが。



カレーライスが好きだけれどそれを毎日食っていると飽きる、飽きたら最後それを食べ続けていく事が出来なくなってしまう、嫌いになってしまう。今回この本を作ってつくづく思い知ったのは裸のヒロインのバックに背景があるのかって事。俺は背景があることによって世界が広がるとか絵が豪華になるとか思っていた、というか勘違いしていた、そして思ういらないなって。背景というのがあることによってヒロインが可愛くなるわけではないのだ。そもそも俺のエロ漫画での背景は黒くするために描くものであって世界観を描くためのものではなかったのだから言うのに気付く、というのは今回思いっきりロングの背景を多用したからこそわかった。思ってる以上に時間がかかる上に必要ないという事が。極論として背景はいらないというか邪魔、背景の代わりに何か背景を黒くする事が出来るならそれでいいのだ。全てを上手く書く事を追求するのが、時には無意味だって言うのが今回の作業でわかった、それに気付いただけで得たものがあつたと思う。楽だから背景を書かないというのではなく、邪魔だから背景をあえて書かないというのは、その本質は背景を書かないというので同じなのだけれど、後者の場合は背景が必要じゃないとは言っていない、書く事が嫌いになってないのだ、これは大きい。力を入れるばかりでは駄目なのだ時には力を抜かないといげない、カレーを好きで居続けるには意識してほとんど食わないけれど、たまにしっかり美味しいものをガッツリ食うという環境にならないと駄目なのになって、背景を書く事を好きで居続けるその考え方に辿り着いたのはまさに儲けモノだった。

2009.9.9七神優







誌名 「DOAH 2」

発行日 2009年9月9日

発行元 SEVENGODS!

作画 七神優

印刷所 ねこのしっぽ

無断転載・Web転載・複写・複製禁止
18歳未満お断り

ホームページアドレス

[http://www2.tbb.t-com.ne.jp/
nanagami/index.htm](http://www2.tbb.t-com.ne.jp/nanagami/index.htm)

ご意見ご感想はこちらに

ic110187-5974@tbb.t-com.ne.jp



**SEVENGODS!
COMICS 2009**